

## 広島県空港振興協議会「空港経営改革推進委員会(第2回会議)」の開催結果について

### 1 概要

広島空港の経営改革を官民で進めるため広島県空港振興協議会に設置した空港経営改革推進委員会の第2回会議を次のとおり開催した。

### 2 会議内容

(1) 日 時 平成 29 年 11 月 7 日 (火) 14 : 00～15 : 30

(2) 会 場 広島県庁北館 3 階 第 6 委員会室

(3) 出席者 別紙名簿のとおり

(4) 主な内容 (出席者からの主な意見は裏面のとおり)

#### ア 新委員の就任について

- ・ 新委員 (尾道商工会議所会頭 福井 弘) の就任を承認

#### イ 基本スキーム (案) 公表以降の地域の取組

- ・ 空港活性化部会以降の地元官民の議論の結果が、基本スキーム (案) 公表時点でどのように反映されているかについて確認
- ・ 地元ニーズに沿った事業提案を引き出す観点から、今後は「優先交渉権者選定基準」でどのような提案項目を重視すべきかを念頭に議論を進めていくことを確認 (優先交渉権者選定基準は募集要項と合わせて平成 31 年 2 月に策定される予定)

#### ウ 空港経営改革に向けた機運醸成

- ・ 10 月に行ったセミナー及び現地見学会の実施状況を報告し、空港経営改革に係る現時点での企業の関心度や、他空港事例も踏まえて空港運営事業の参画形態等について意見交換を行い、地元企業を含め幅広く機運醸成を図ることの必要性を確認

### 3 今後の予定

第 3 回会議では重点テーマ (将来目標及び空港アクセス強化) について議論を行うとともに、引き続き地域の声を反映した空港経営改革が進んでいくよう、積極的な情報発信を行う。

## 《出席者からの主な意見》

### ① 基本スキーム（案）公表以降の地域の取組について

#### ア 基本スキーム（案）の確認

- 空港エリア全体での活性化のためには、ホテルや周辺県有施設との一体運営は必須であり、これが基本スキーム(案)に盛り込まれた点は評価できる。
- 周辺施設との一体運営は、他空港にはない特徴的なスキームであり、これまでに空ビルが取り組んできたことをどのように活かし、また新しい視点を入れていくかがキーポイントになる。

#### イ 優先交渉権者選定基準

- 各空港の事情に応じて変わってくるものと思うが、運営権対価の配点が高まっている状況もあるので、優先交渉権者選定基準については、地域としても議論しておく必要がある。
- 地域の人に愛される空港にしていくためにも、賑わい創出に目を向けた提案を評価する視点も必要なのではないか。
- 重点テーマの議論も含めて、今後は「どのような提案を重視するか」という視点で議論を進め、その結果が国の策定する選定基準に反映されるよう、県から国へ働きかけてもらうことを念頭に、引き続き委員会で取り扱っていきたい。

### ② 空港経営改革に向けた機運醸成について

#### ア 運営権者への期待

- やまなみ街道の開通を契機に、松江、尾道、今治、松山の商工会議所では広域的な連携を進めているが、広域観光の観点で広島空港に期待する声もある。選定基準の議論とも関係するが、広島空港が中四国の拠点空港を目指していくのであれば、このような地域の取組との連携に積極的な運営権者が望ましいのではないか。
- 近隣空港と競争するのか、あるいは協調して相互に付加価値を上げていくのかという点も、今後の空港戦略における重要な論点であり、いずれの方向性が地域にプラスになるのかについて考えていく必要があるが、運営権者にも意識してもらいたい。
- アクセス強化等も含む戦略的な空港運営の実現には、地域の様々なステイクホルダーと連携した取組が必須であり、地元企業の積極的な関与が必要ではないか。
- 空港の周辺事業者の間でも空港全体として活性化していこうという機運が高まってきており、運営権者には賑わい創出に関するノウハウも期待したい。

#### イ 機運醸成

- 今後とも、事務局及び各委員は、地元企業を含めた機運醸成に積極的に取り組んでいく必要がある。